

# 第71期 報告書

2019年4月1日～2020年3月31日

# Asahi-Seiki

旭精機工業株式会社  
証券コード：6111

# 株主の皆さまへ

株主の皆さまには、平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、当社第71期（2019年4月1日から2020年3月31日まで）の事業の概況につきましてご報告申し上げます。

株主の皆さまにおかれましては、今後ともなにとぞ格別のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2020年6月



取締役社長

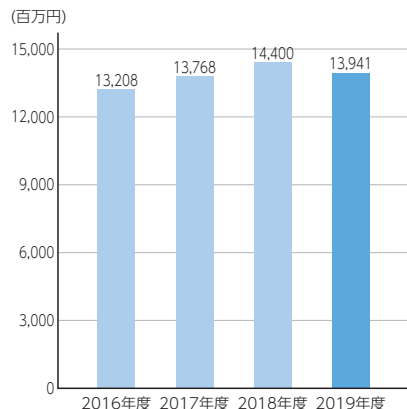
山口 央

## 事業の全般的状況

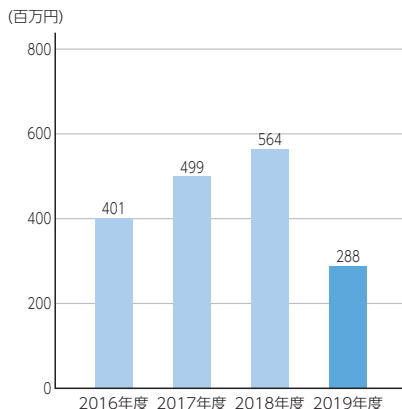
当期におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善を背景に緩やかな回復基調を示してきたものの、各国の通商政策をはじめとする海外経済の不確実性や、年央の自然災害や消費税増税による消費マインドへのマイナス影響に加え、年度後半の新型コロナウイルス感染症拡大による国内外経済への影響により厳しい状況となってきました。

このような状況のもと当社におきましては、新製品及び新技術の開発、市場への発信力の強化、生産性の向上、コスト削減の徹底等に注力してまいりましたが、売上高は139億4千1百万円と前期比3.2%の減少、利益面につきましては、精密金属加工品において自動車関連部品の受注減の影響を受けたこと、展示会出展費用及び研究開発費が増加したこと等から、営業利益は2億8千8百万円と前期

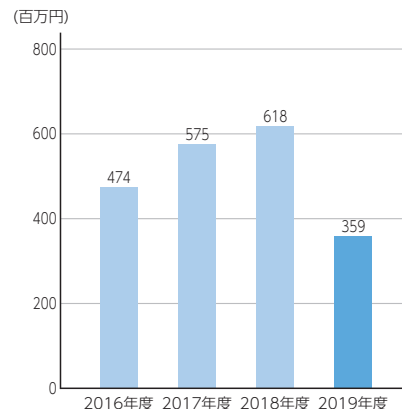
### ■売上高



### ■営業利益



### ■経常利益



比48.8%の減少、経常利益は3億5千9百万円と前期比41.9%の減少、当期純利益は、保有する投資有価証券の一部を売却し特別利益を計上したものの、4億4百万円と前期比47.1%の減少となりました。

## 設備投資の状況

当期中に実施いたしました設備投資は総額9億9千5百万円で、その主なものは精密金属加工品製造設備の拡充・合理化に4億2百万円及び金属加工機械製造設備の拡充・合理化に2億9千6百万円であります。

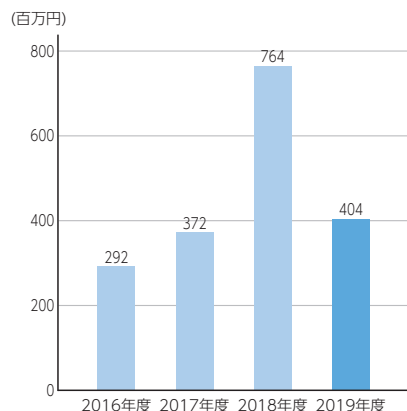
## 対処すべき課題

今後のわが国経済は、引続き、新型コロナウイルス感染症の拡大による影響が懸念される等、予断を許さない状況が続くものと思われまます。

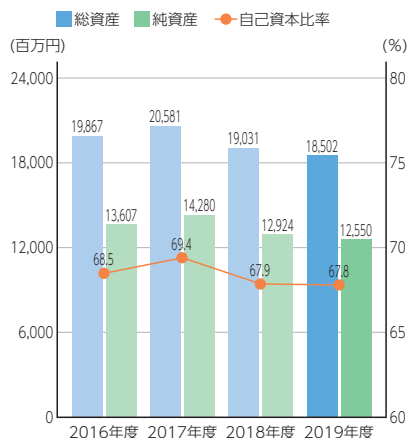
このような情勢のもと、当社は、社員の安全確保と社内外への新型コロナウイルス感染症の拡大防止に取り組むとともに、より一層の生産性の向上及びコスト削減の徹底に注力し、顧客満足度の高い新製品の開発、画期的な新技術の追求、市場への発信の更なる強化を図り、業績の向上に向け鋭意努力してまいります。

株主の皆さまにおかれましては、今後ともなにとぞ格別のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

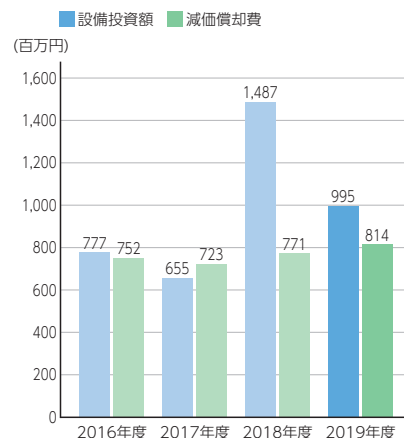
### ■当期純利益



### ■総資産・純資産・自己資本比率



### ■設備投資額・減価償却費



## 部門別状況等

精密加工事業部における当期の売上高は、73億9千7百万円と前期比1.9%の減少、機械事業部における当期の売上高は、65億4千4百万円と前期比4.6%の減少となりました。

その内容は以下のとおりです。

### 精密加工事業部

売上高 **73億円**  
(53.1%)



### 機械事業部

売上高 **65億円**  
(46.9%)

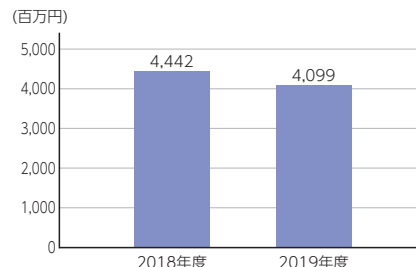
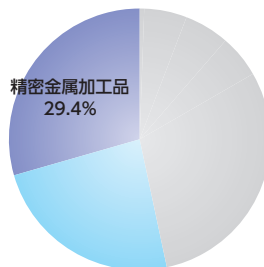


2019年度  
売上高  
**139億円**

## ■精密加工事業部

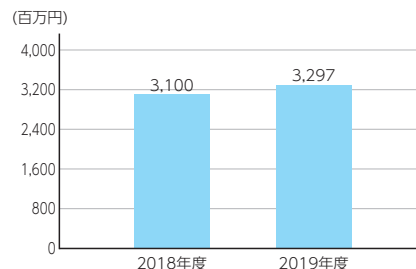
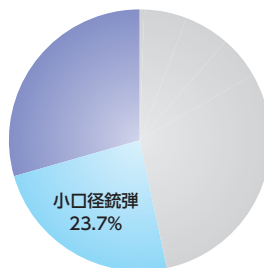
### ① 精密金属加工品

当期の売上高は、主に自動車関連部品及び水晶振動子関連部品が減少したことから、40億9千9百万円と前期比7.7%の減少となりました。



### ② 小口径銃弾

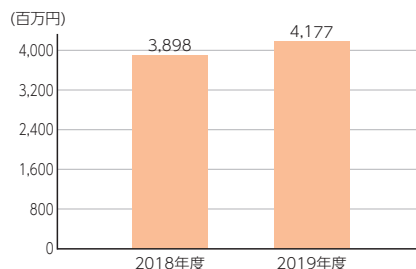
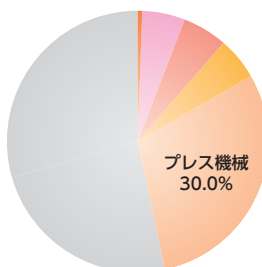
当期の売上高は、政府の予算執行を受け、32億9千7百万円と前期比6.4%の増加となりました。



## ■ 機械事業部

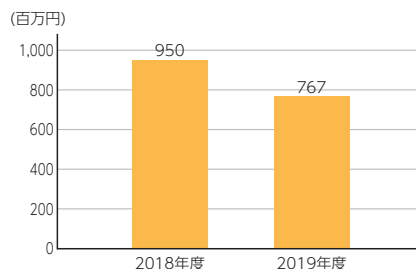
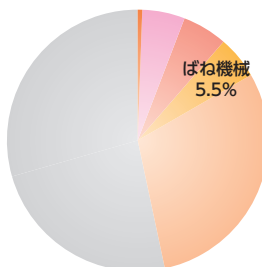
### ① プレス機械

当期の売上高は、主にリチウムイオン電池缶製造用プレスの輸出が増加したことから、41億7千7百万円と前期比7.2%の増加となりました。



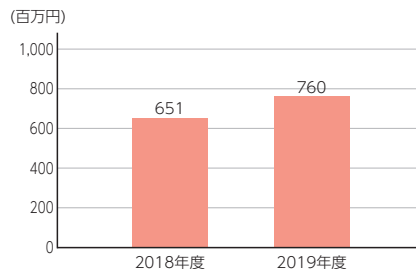
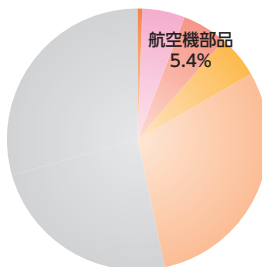
### ② ばね機械

当期の売上高は、主にコイルばね成形用の製品が減少したことから、7億6千7百万円と前期比19.2%の減少となりました。



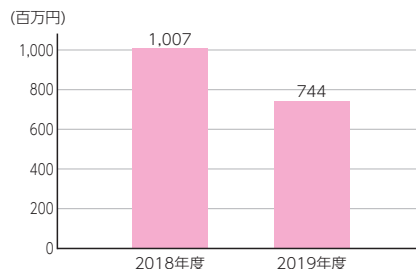
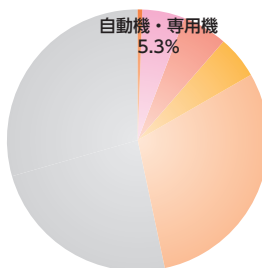
### ③ 航空機部品

当期の売上高は、旅客機用部品が増加したことから、7億6千万円と前期比16.7%の増加となりました。



### ④ 自動機・専用機

当期の売上高は、自動車関連向けが減少したことから、7億4千4百万円と前期比26.1%の減少となりました。



## 貸借対照表

(単位：千円)

科 目	第70期 (2019年3月31日現在)	第71期 (2020年3月31日現在)
<b>(資産の部)</b>		
<b>① 流動資産</b>	<b>10,635,344</b>	<b>10,791,495</b>
現金及び預金	2,990,116	4,241,168
受取手形	82,605	70,734
電子記録債権	1,022,592	815,425
売掛金	2,924,954	2,205,700
製品	148,630	237,054
仕掛品	2,691,767	2,510,772
原材料及び貯蔵品	695,981	645,840
前払費用	29,033	23,480
その他	56,063	45,818
貸倒引当金	△4,400	△4,500
<b>固定資産</b>	<b>8,396,196</b>	<b>7,710,739</b>
<b>有形固定資産</b>	<b>5,226,676</b>	<b>5,406,323</b>
建物	2,188,177	2,120,853
構築物	265,496	290,374
機械及び装置	1,809,585	2,066,583
車両運搬具	36,721	29,208
工具器具備品	147,715	134,818
土地	615,104	647,760
リース資産	16,248	10,103
建設仮勘定	147,627	106,619
<b>無形固定資産</b>	<b>105,921</b>	<b>100,565</b>
ソフトウェア	92,968	90,866
リース資産	11,148	7,616
その他	1,803	2,081
<b>投資その他の資産</b>	<b>3,063,598</b>	<b>2,203,851</b>
投資有価証券	2,862,843	2,008,607
関係会社株式	10,000	10,000
破産更生債権等	298	-
長期前払費用	35,543	17,202
前払年金費用	28,410	40,302
その他	126,801	127,737
貸倒引当金	△298	-
<b>資産合計</b>	<b>19,031,541</b>	<b>18,502,235</b>

科 目	第70期 (2019年3月31日現在)	第71期 (2020年3月31日現在)
<b>(負債の部)</b>		
<b>流動負債</b>	<b>4,974,139</b>	<b>5,007,443</b>
支払手形	222,781	196,610
電子記録債務	2,052,632	1,711,359
買掛金	782,316	557,109
短期借入金	900,000	1,700,000
リース債務	10,449	9,182
未払金	324,366	359,427
未払費用	94,846	67,522
未払法人税等	212,518	143,464
前受金	41,400	7,855
預り金	38,933	21,503
賞与引当金	263,894	203,407
役員賞与引当金	30,000	30,000
<b>固定負債</b>	<b>1,132,996</b>	<b>944,396</b>
リース債務	19,138	9,956
繰延税金負債	216,424	904
退職給付引当金	770,022	807,193
その他	127,410	126,342
<b>負債合計</b>	<b>6,107,135</b>	<b>5,951,840</b>
<b>(純資産の部)</b>		
<b>株主資本</b>	<b>11,442,525</b>	<b>11,674,306</b>
資本金	4,175,416	4,175,416
資本剰余金	3,468,202	3,468,202
資本準備金	3,468,202	3,468,202
利益剰余金	5,226,438	5,462,093
利益準備金	449,500	449,500
その他利益剰余金	4,776,938	5,012,593
別途積立金	2,392,500	2,392,500
繰越利益剰余金	2,384,438	2,620,093
<b>自己株式</b>	<b>△1,427,532</b>	<b>△1,431,406</b>
<b>評価・換算差額等</b>	<b>1,481,880</b>	<b>876,088</b>
② その他有価証券評価差額金	1,481,880	876,088
<b>純資産合計</b>	<b>12,924,405</b>	<b>12,550,395</b>
<b>負債及び純資産合計</b>	<b>19,031,541</b>	<b>18,502,235</b>

### Point ① 現金及び預金

主に、売上債権の回収、運転資金の拡充のため借入金を増額したこと等から、前期よりも12億5千1百万円増加しております。

### Point ② その他有価証券評価差額金

主に、保有株式を期末時価で評価したことによる評価額の減少及び投資有価証券の一部を売却したことにより、前期よりも6億5百万円減少しております。

## ■ 損益計算書

(単位：千円)

科 目	第70期 (2018年4月1日～ 2019年3月31日)	第71期 (2019年4月1日～ 2020年3月31日)
売上高	14,400,412	13,941,653
売上原価	12,220,968	11,952,861
売上総利益	2,179,444	1,988,791
販売費及び一般管理費	1,615,204	1,700,142
③ 営業利益	564,240	288,649
営業外収益	93,847	92,870
受取利息	566	503
受取配当金	52,487	52,192
雑収入	40,792	40,173
営業外費用	39,215	22,260
支払利息	4,940	7,227
雑支出	34,275	15,033
経常利益	618,872	359,258
特別利益	459,765	188,639
④ 投資有価証券売却益	449,987	188,639
固定資産売却益	9,777	—
税引前当期純利益	1,078,637	547,897
法人税、住民税及び事業税	302,178	127,432
法人税等調整額	12,200	15,983
当期純利益	764,258	404,480

### Point ③ 営業利益

主に、精密金属加工品の売上減少、展示会出展費用及び研究開発費が増加したこと等から、2億8千8百万円の減益となりました。

### Point ④ 投資有価証券売却益

当社が保有する投資有価証券の一部を売却したことにより、1億8千8百万円を計上しております。

## ■ キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科 目	第70期 (2018年4月1日～ 2019年3月31日)	第71期 (2019年4月1日～ 2020年3月31日)
⑤ 営業活動による キャッシュ・フロー	212,732	1,387,665
⑥ 投資活動による キャッシュ・フロー	△476,745	△753,807
財務活動による キャッシュ・フロー	△1,292,798	617,228
現金及び現金同等物 に係る換算差額	427	△34
現金及び現金同等物 の増減額	△1,556,384	1,251,052
現金及び現金同等物 の期首残高	4,546,500	2,990,116
現金及び現金同等物 の期末残高	2,990,116	4,241,168

### Point ⑤ 営業活動によるキャッシュフロー

主に、仕入債務が6億4千1百万円減少したものの、売上債権が9億2千7百万円減少したこと、減価償却費を8億1千4百万円及び税引前当期純利益を5億4千7百万円計上したことにより、資金は13億8千7百万円増加しました。

### Point ⑥ 投資活動によるキャッシュフロー

主に、投資有価証券の売却により2億9百万円増加したものの、金属加工機械の更新等で9億1千7百万円支出したことにより、資金は7億5千3百万円減少しました。

## 新型ばね研削機『AG-12HD』の発売

当社は、昨年東京で開催されたプレス・板金・フォーミング展「MF-TOKYO2019」にて、新型ばね研削機『AG-12HD』を初披露いたしました。



ばね研削機『AG-12HD』

ばね研削機は、コイルばねの両端部を研削加工するためのもので、この研削加工は、コイルばねの生産において最もボトルネックになりやすい工程の一つであり「研削時間の短縮＝研削の高速化」は製造現場において共通の課題となっています。

今回開発した『AG-12HD』は、従来の1.8倍の速度で砥石を回転させて高速研削を可能としたほか、供給テーブルを2枚式（ダブルローディング）にして作業者のタイムロスを失くし、生産効率を大幅にアップさせました。また、砥石のランニングコスト削減に大幅に寄与する自動ドレス（砥石目立て）装置も標準装備としました。

当社は、今回新たに『AG-12HD』を加えて、これまで砥石を下降させて研削を行うダウンフィード研削機として高い評価を得ている「AGシリーズ」を強化し、細線径ばねの研削に適したコストパフォーマンス抜群とご好評をいただいている「研王」とともに、ばね研削機のラインナップの充実化を図り、更なるシェア向上に鋭意努力してまいります。

## 第70回全国植樹祭に協賛

2019年6月2日に「第70回全国植樹祭」が愛知県で開催されました。今回の植樹祭の会場となった愛知県森林公園は、当社本社所在地の愛知県尾張旭市に位置しており、当社は地元企業として協賛いたしました。

全国植樹祭は、豊かな国土の基盤である森林・緑に対する国民の理解を深めるために、公益社団法人国土緑化推進機構と都道府県の共催により開催する、国土緑化運動の中心的行事です。

例年、天皇皇后両陛下のご臨席のもと、県内外から多くの方々に参加され、式典行事や記念植樹が行われます。70回目の節目となった今回の植樹祭は、天皇皇后両陛下の即位後初の地方訪問となり、会場及び沿道には多くの方が詰めかけるなど盛況のうち幕を閉じました。





## 「第54回 日本産業広告賞」雑誌部門 佳作を受賞

日刊工業新聞社主催の「第54回 日本産業広告賞」におきまして、当社企業広告が雑誌部門で佳作を受賞しました。今回受賞したのは、昨年発表しました新たな機械開発のヴィジョン『ALPHANOMOUS (アルファノマス)』を打ち出した広告であります。



『ALPHANOMOUS』とは、機械に様々な自律機能 (autonomous) をプラスアルファ (alpha) させるという造語ですが、当社は、このヴィジョンのもと、金型の調整や機械のメンテナンスなど、自動化が難しく熟練の技術が不可欠とされる金属塑性加工の分野において、機械が自律し、機械自らが調整し、人が関与する作業を極限までなくしていくことを追求してまいります。

## 環境有益活動の実施

当社は、2002年に環境マネジメントシステム規格「ISO14001」の認証を取得するなど、「環境と調和する企業」を目指し、環境汚染の防止及び環境の改善活動を継続的に推進しております。

その一環として、毎年秋に開催される愛知県尾張旭市のボランティア団体主催の矢田川河川敷の清掃活動に参加する他、会社周辺の清掃活動のため、定期的に従業員ボランティアを募集して実施するなど、積極的に地域の環境保全に取り組んでおります。



矢田川河川敷の清掃活動

## 株主優待のご案内

### (1) 対象となる株主さま

毎年3月31日現在の当社株主名簿に記載された100株（1単元）以上保有の株主さまを対象とさせていただきます。

### (2) 優待の内容

保有株式数	優待内容
100株以上	クオカード 1,000円分

### (3) 謹呈の時期

毎年1回、当社定時株主総会終了後の6月下旬発送を予定しております。



# 株式の状況

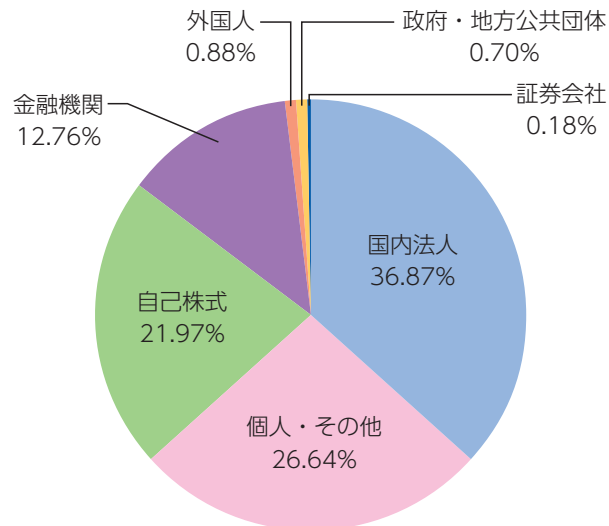
(2020年3月31日現在)

■発行可能株式総数	5,824,900株
■発行済株式の総数	3,088,739株
■株主数	2,172名
■1単元の株式数	100株
■大株主	

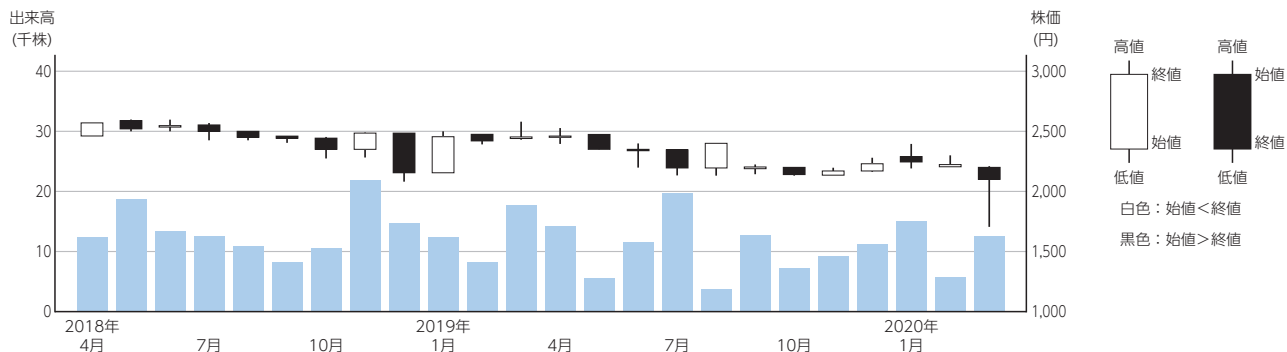
株主名	持株数(株)	持株比率
古河電気工業株式会社	455,800	18.91%
旭化成株式会社	168,900	7.00%
オークマ株式会社	120,000	4.97%
三谷伸銅株式会社	119,073	4.94%
株式会社三菱UFJ銀行	106,084	4.40%
東京海上日動火災保険株式会社	86,515	3.58%
岡谷鋼機株式会社	84,600	3.51%
株式会社みずほ銀行	56,507	2.34%
株式会社名古屋銀行	45,000	1.86%
知多鋼業株式会社	40,000	1.65%

- (注) 1. 当社は、自己株式を678千株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。  
 2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

## ■所有者別株式分布 (2020年3月31日現在)



## ■出来高及び株価の推移



# 会社の概要

## ■会社概要 (2020年3月31日現在)

商号 旭精機工業株式会社  
(ASAHI-SEIKI MANUFACTURING CO.,LTD.)  
設立 1953年8月11日  
資本金 41億7千5百万円  
事業内容 精密金属加工品、小口径銃弾、プレス機械、ばね機械、航空機部品、自動機・専用機等の製造及び販売  
従業員数 531名  
拠点  
本社・工場 〒488-8655  
愛知県尾張旭市旭前町新田洞5050番地の1  
TEL (0561) 53-3112(代表)  
東京支店 〒113-0034  
東京都文京区湯島一丁目6番3号  
TEL (03) 5805-6991  
大阪営業所 〒564-0063  
大阪府吹田市江坂町一丁目13番41号  
TEL (06) 6368-6251  
神戸工場 〒652-8585  
兵庫県神戸市兵庫区和田崎町一丁目1番1号  
TEL (078) 651-3007  
ドイツ駐在員事務所 Immermannstraße 13 D-40210  
Düsseldorf ,Germany ABD Business Center内

## ■取締役及び監査役 (2020年6月25日現在)

取締役社長 山口 央  
常務取締役 神谷 真二  
常務取締役 安藤 充  
常務取締役 工野 浩義  
取締役 白石 憲生  
取締役 松原 幸弘  
取締役 石村 淳  
社外取締役 溝田 義昭  
社外取締役 尾形 昭彦  
社外取締役 西野 充  
常勤監査役 伊藤 康裕  
社外監査役 馬場 紀彰  
社外監査役 上総 英男

## ホームページのご案内

当社ホームページでは、製品情報やIR情報など、皆さまに当社を知っていただくための各種情報を発信しております。

是非ご覧ください。

旭精機工業

検索



▲トップページ

<https://www.asahiseiki-mfg.co.jp/>

## ■株主メモ

- 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日
- 定時株主総会 毎年6月
- 配当金受領株主確定日 3月31日
- 公告方法 電子公告(当社ホームページをご覧ください。)  
<https://www.asahiseiki-mfg.co.jp/>
- 株式市場 名古屋証券取引所(市場第2部)
- 証券コード 6111

## ■株式に関するお手続きについて

■各種のお手続き、ご照会等のお問い合わせ先は以下のとおりです。

お手続き、ご照会等の内容	証券会社の口座に記録された株式	特別口座に記録された株式
●住所・氏名等の変更	お取引の証券会社	三菱UFJ信託銀行 証券代行部
●単元未満株式の買取・買増請求		
●配当金の受領方法の指定・変更		
●特別口座から証券口座への振替請求	三菱UFJ信託銀行 証券代行部	
●支払期間経過後の配当金に関するご照会		
●郵送物等の発送と返戻に関するご照会		
●その他のお問い合わせ		

■三菱UFJ信託銀行 証券代行部の連絡先等は以下のとおりです。

- 郵便物の送付先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
- 電話でのお問い合わせ先 0120-232-711(通話料無料)
- 手続き書類のご請求方法 インターネットによるダウンロード <https://www.tr.mufg.jp/daikou/>

 旭精機工業株式会社

UD  
FONT

見やすいユニバーサルデザイン  
フォントを採用しています。

